

都市再生整備計画 事後評価シート
九頭竜和泉地区

令和3年12月

福井県大野市

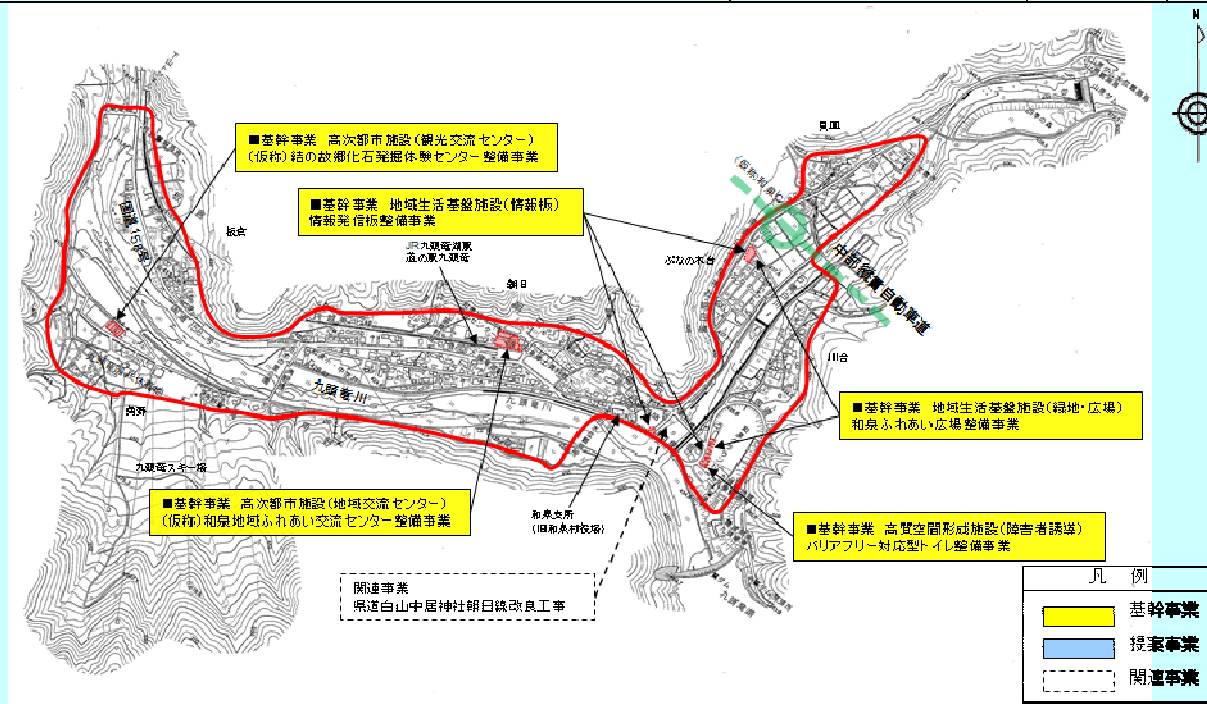
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県	市町村名	大野市	地区名	九頭竜和泉地区			面積	98ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	491百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 地域生活基盤施設：緑地・広場整備、情報版整備、高質空間形成施設：障害者誘導施設、高次都市施設：地域交流センター整備、観光交流センター整備 提案事業								
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし								
		提案事業	なし								
	交付期間の変更	当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	指標1	人口の社会増減数	人	-5	H26	-2	R2	×	ありなし ●	交流センターの整備によりコミュニティの場を集約させ、地区の魅力は向上したが、人口減少数は目標を達成しなかった。人口減少を抑えるための地域産業の活性化も課題であり、1年以内の達成は困難である。	-
	指標2	観光施設の入込客数(道の駅「九頭竜」、化石発掘体験センター)	人/年	121,000	H26	131,000	R2	×	ありなし ●	新型コロナウイルスの感染症拡大により市外からの往来を控え、イベント等の開催中止が顕著したため目標値を下回った。今後は、感染症拡大状況を注視しながら目標達成に向けた取組を進める。	令和4年12月
	指標3	和泉地域ふれあい交流センター利用数	人/日	771	H26	14,100	R2	×	ありなし ●	新型コロナウイルスの感染症拡大により市外からの往来を控え、イベント等の開催中止が顕著したため目標値を大きく下回った。目標値と評価値に大きな差があり、1年以内の達成は困難である。	-
	指標4								ありなし		
	指標5								ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

越前おおの城下町地区(2期)(福井県大野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
『九頭竜の源流が育むうるおいと活力の宝庫 ～住んでよし訪ねてよしのまちづくり～』 目標 1 住民が安心して暮らすことのできる生活環境の向上を図る。 目標 2 恵まれた地域資源を生かした地域内外との交流の促進や、観光の推進を図る。 目標 3 和泉地区の新たなコミュニティを形成する仕組みづくりを推進する。	人口の社会増減数	単位: 人	-5	H26	-2	R2	-23	R2
	観光施設の入込客数	単位: 人/年	121,000	H26	131,000	R2	118,943	R2
	和泉地域ふれあい交流センター利用数	単位: 人/年	771	H26	14,100	R2	1,762	R2
		単位:						
		単位:						



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力は向上したが、交流人口の増加に向けてさらなる情報発信が必要である。 ・地域資源を発信・体験できる場を整備できたが、消費を拡大するための仕掛けが不足している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業とソフト事業を連携して、さらなる地域の魅力向上、交流人口の増加を図る。